

新年のごあいさつ

平成22年 早春



市長
大住 清昭



市議会議長
柏尾 武二

さらに住みよい まちづくりを進めます

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

市長就任以来、基本理念として「人と自然を大切にした協働によるまちづくり」を掲げ、将来像に「未来輝く産業・定住拠点都市」を目指し、実現に向けた課題として「子育て支援日本一のまちづくり」に取り組んでまいりました。
市民の皆さまに対する私の約束、「マニフェスト」を80%近くは実行できていると自己評価しております。
事業としては、基幹道路の整備も計画から着手へ進み、企業誘致も3社の進出、8社の増設、子育て支援の環境づくりもできるだけニーズに添えるよう全庁横断的に取り組んでまいりました。

このような取り組みの中、人口も増加しております。
また、県内14市で初めて小学3年生まで（現在6年生まで）の医療費無料化、行政評価システムと連動した総合計画の策定、男女共同参画社会実現への取り組みや、自治基本条例策定事業および合志市緊急農業支援対策事業などに取り組んでまいりました。

22年度は、更なる合志市の発展のために、子育て支援日本一のまちづくり、御代志地区の渋滞解消のための国道387号周辺整備、北熊本スマートインターチェンジの整備、公共交通の充実、企業誘致などに努力してまいります。
本年も市政運営に市民の皆さまのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、2010年が皆さまにとりまして幸多い年でありますようご祈念し、新年のごあいさついたします。

諸施策実現に向け 全力で取り組みます

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、平成22年の輝かしい新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げますとともに、平素より市政並びに議会運営に対しまして温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年3月に開かれた臨時議会で、正副議長を始め各常任委員会の後期（平成21年4月1日〜平成23年4月30日）の体制が決まりました。

残された任期は一年四カ月になりましたが、市民の皆さまの声を市政に反映すべく意見、提言を行ない、住みよいまちづくりに邁進してまいります。

昨年世界同時不況という厳しい現実から脱却できず企業経営は軒並み悪化の一途をたどり、多くの企業が倒産、規模縮小を続け、企業の内定取り消しや派遣切り問題も記憶に新しいものがあります。

また、新型インフルエンザの流行も私たちを震え上がらせました。本市でも感染が広がり、保育園の登園自粛、小中学校の学級閉鎖や各種イベントの中止・延期を余儀なくされました。またまた猛威を振るっていますので、感染予防に十分留意していただきたいと思えます。

合志市が誕生して四回目の新春を迎え、人口も五万五千人に近づいています。本市の総合計画に掲げている将来都市像「未来輝く産業・定住拠点都市」、更には基本方針の一つである「人々が安全に安心して暮らせるまち」を実現するための諸施策が遅滞なく推進するように、執行部はもちろん議会としても全力で取り組む所存です。

最後に、この一年が皆さまにとりまして、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

「未来輝く産業・定住拠点都市」 を目指して

本市は比較的立地条件の良いこともあり、合併以来、毎年複数の企業と新設または増設の調印を行ない、年間の設備投資総額は70億円以上の実績を積み重ねることができました。

昨年は、11月19日に、東京エレクトロン九州（株）と新たな設備投資に向け増設調印を行ない、また12月21日に（株）プレテックATと進出調印を行ないました。

また、蓬原工業団地の拡張用地として昨年5月に県から67ヘクタールの土地を取得しましたので、周辺の民有地と併せた11ヘクタールの土地について更なる企業誘致の候補地として利用計画を策定中です。

本年も合志市が大きく躍進することができまますよう企業誘致活動に積極的に取り組みます。



(写真右から)
（株）プレテックATの原田社長と大住市長



(写真左から)
東京エレクトロン九州（株）の飽本社長、蒲島知事、大住市長